



米国食肉輸出連合会は、日米の食肉業界の飛躍に貢献できるよう努力しております。

Trader's Be&Po

米国食肉輸出連合会 (USMEF) <http://www.americanmeat.jp>

Volume 005 May 31, 2004

Trader's Be&Poはメールでもお届けします。ご希望の方は、下記にご記入の上、FAX返送してください。

お名前 様 メールアドレス @

FAX番号 03-5542-2912

「Trader's Be&Po」はインターネットでもご覧いただけます。
ご希望の方は、下記URLからダウンロードしてください。
<http://www.americanmeat.jp/publications/tnf.html>

★「Be&Po」とは、Beef(牛肉)とPork(豚肉)を合わせた言葉で、アメリカン・ミートがもたらす豊かな食の世界を表現しています。

BSE関連ニュース

●OIE年次総会、終了

OIEの年次総会は27日、BSEの輸出入基準の見直しに関して、感染危険のある国からの牛の輸出入については、回腸を含めた腸全体を禁止することで原則合意した。

特定部位除去の対象となる牛の月齢を、現在の6カ月以上から12カ月以上とする事務局案も可決された。決定の内容は、輸出国と輸入国の貿易を拘束するものではないが、今後の牛肉貿易への影響が予想される。

一方、安全に貿易できる対象として、牛乳・皮革などに牛肉なども加えようとした事務局案については、日本などの反対が入られ、合意を見送った。

※2004年5月28日 時事通信

●日本、OIEのBSE基準緩和提案に反対

日本は、国際獣疫事務局(OIE)が提案するBSE基準の緩和に反対している。OIEは、5月23日から6日間パリで開催される総会において、BSE発生国からの輸入が安全な製品として、牛乳、精液、皮革を新たに加える改正案を協議する予定だが、日本の農林水産省は、これらの製品を安全とする科学的根拠がないとして、OIEに意見書を提出した。

日本はまた、特定部位除去の対象となる牛の月齢を「生後6カ月以上」から「同12カ月以上」に緩和するとしたOIEの提案にも反対の立場をとっている。

OIEは、腸の特定部位に関して、現在の「小腸のみ」から「腸全体」を提案しているが、日本の農林水産省は、一定の部分を除けば安全性に問題はないとしている。

※2004年5月17日 Cattle Buyers Weekly

●韓国、OIEの牛肉禁輸の緩和要請に反発

OIEが韓国に提示した、BSEに関する基準や禁輸の緩和要請に対し、韓国側は強く反発している。韓国農林省の高官は、次のように語っている。「OIEは、適切な対策を取れば安全であるとして、BSE基準の改正を進めているが、現在これらの部位の安全性を完全に裏付ける科学的根拠はない」。韓国はすでにOIEに対し、改定に反対する報告書を提出している。

欧州各国を中心とするOIEが、輸出国側の立場から、各国のBSE政策に変更を促す政治的動きを強めていくのではないかと、韓国政府は懸念しているようだ。

OIE基準は、世界貿易機関(WTO)が動物製品に関する貿易論争を解決する際に使われる。

※2004年5月12日 meatingplace.com



米国食肉市場ニュース

～ 牛肉 ～

牛肉市況 (5月10日～14日)

- 週間と畜頭数：69万頭 (前年比7.8%減)。
- 肥育牛の取引価格 (100ポンド [約45kg] 当たり)：主要5市場では、平均87.40ドル (先週比3.30ドル減)。枝肉価格は平均141.45ドル (同4.45ドル減)。
- 牛肉価格：先週よりやや低め。歩留まり等級3 (YG3) のチョイスは159.53ドル (先週比1.60ドル安)。YG2～3のセレクトは137.44ドル (同1.93ドル安)。
- 夏の市況予測：バーベキューシーズンが近づき、牛肉の需要が高くなると見込まれるため、ボックスビーフは昨年と比べかなり高い。ヘビーチョイスは5月の2週目で20ドル高 (前年比)。フィードロットの畜牛数も、昨年と同じか、やや低め。先物価格が低かったため、早めに市場に出荷された。一方、高値にもかかわらず、米国内の牛肉需要は高く、小売・外食ともに予想以上の売れ行きである。今年は豚肉や鶏肉も同様に高値で、牛肉の競争力は高いと言える。今後も高値が続き、肥育牛100ポンド当たり80ドルの取引価格を下回るかどうか、また秋には100ドルを超えるかどうかについては、今のところ判断は難しい。今年の海外市場での低需要に合わせ、パッカーはと畜頭数を減らし、かわりにボックスビーフの値段で調整を行うと、アナリストは見ている。これにより、今後フィードロットの畜牛数が増え、市場での牛肉価格に影響を及ぼすと予想される。

オクラホマシティーにおける去勢素牛の体重別、100ポンド (約45kg) 当たりの価格 (US\$)

体重 (ポンド)	5月10～14日
400～500	123.50～135.50
500～600	117.00～131.50
600～700	107.50～121.25
700～800	103.75～117
800～1000	94.00～103.75

※2004年5月14日
Cattle Outlook (Glen Grimes & Ron Plain)

※2004年5月17日 Cattle Buyers Weekly

～ 豚肉 ～

豚肉市況 (5月10日～14日)

- 週間と畜頭数：182.6万頭 (前年比1.1%増)。
- 肉豚の現金取引価格：主要市場の価格は、先週比3～5ドル高。
- 肉豚の重量別取引価格：2週前と比べ、価格にばらつき。電話取引における重量別の取引価格は40～50ポンドが87.00～91.00ドル、50～60ポンドが83.00～88.50ドル、60～70ポンドが74.50～87.50ドル。

主要市場における100ポンド (約45kg) 当たりの最高価格 (US\$)

	5月14日
ペオリア	58.00
セントポール	60.00
スーフールズ	60.50
ミズーリ中央部	57.75

185ポンド物 (約83.5kg) の枝肉平均価格 (US\$)

	5月14日
東部トウモロコシ地帯	80.55
西部トウモロコシ地帯	50.81
アイオワ・ミネソタ	80.27
全国	80.29

※2004年5月14日 Hog Outlook (Glenn Grimes & Ron Plain)

業界ニュース

●米国内へのカナダ産牛製品の輸入、来年に先送りの可能性

米国農務省・動植物健康検査局 (APHIS) は、5月10日、米国農務省 (USDA) による生体牛や牛製品に関する最終規則の発表が、当初の見込みより6カ月先送りされることを明らかにした。決定後、実際の施行までには1、2カ月の準備期間が必要なことを考慮すると、カナダからの牛製品の輸入再開は7、8カ月後との見方も出てきた。政治的理由で11月2日のアメリカ大統領選挙が終わるまで、最終規則の発表を伸ばす可能性もあるという。

※2004年5月17日 Cattle Buyers Weekly



イベント情報

● **アメリカン・ポークセミナー開催**

USMEFは、6月16日に「アメリカン・ポーク リテール インフォメーションセミナー」を開催します。

- 内 容：米国からリテール市場の専門家を迎え、最新情報や、ポーク商品化の実例を報告。夏・秋に向けた実践的で即効性のある利益商品づくりなど。
- 日 時：2004年6月16日(水) 15:00～19:00(受付/開場14:30～)
- 会 場：品川プリンスホテル 36階(札幌)
- 募集人数：120名
- 申込期限：6月4日(金)
- お問い合わせ・お申し込み：ADKポークセミナー事務局 Tel: 03- 3546-1734

● **アメリカン・ポークのおいしさを、テレビ・雑誌でPRします**

5月～6月、USMEFでは各媒体を通じて、アメリカン・ポークを使ったメニューの紹介をメインに、おいしさや品質をPRします。「おかずのクッキング」(テレビ・雑誌)では、「豚ヒレ1本をジューシーに仕上げる」と題して「豚ヒレ肉のポイル」と「豚ヒレ肉と玉葱の炒め物」2品を紹介。雑誌ではアメリカン・ポークの特徴をお伝えしながら、簡単に作れるお料理2品、「彩りハヤシライス(ローズ使用)」と「ごまだれ丼(カタローズ使用)」も見開き2ページで掲載します。

さらに、オレンジページやSaitaなどの雑誌では、5月に文京区本郷の「もり川食堂」のトンカツを、6月では鈴鹿サーキットの近くにある「MR.RIB」のスペアリブを題材として、アメリカン・ポークの品質をアピールします。どうぞご覧ください。

- 「おかずのクッキング」テレビ (テレビ朝日系)6月第2週 ※地域によって放映日が違います
- 「おかずのクッキング」雑誌(5月21日発行)
- その他、掲載雑誌/オレンジページ・Saita・レタスクラブ・ESSE・今日の料理・すてきな奥さん・サンキュ!・おはよう奥さん・女性セブン・LEE・dancyu・クロワッサン・料理王国・オレンジページクッキン!・おとなの週末